

記入例は、以下の5つの業績を「重要度の高い順に」、申請するケースです。

- ・博士論文及び研究作品【第5条（1）イ】
- ・コンペで入賞【第5条（4）イ】
- ・個展を開催【第5条（4）ロ】
- ・授業科目の成績【第5条（3）ロ】
- ・ティーチングアシスタント【第5条（6）イ】

業績の評価区分及び評価点（申請のあった各業績を総合して評価）

特に優れた業績	優れた業績
100点～90点	89点～80点

※大学記入欄 ⇒

※各教科評価		※研究科評価		※学際系評価		※国際系評価	
(総合評価)	点	(総合評価)	点	(総合評価)	点	(総合評価)	点
	人中 位		人中 位		人中 位		人中 位

業績評価書

[以下は申請者が記入]

令和 6 年 ○ 月 ○ 日

東京藝術大学長 殿

このたび、私の業績について下記のとおり申請しますので評価方よろしくお願いたします。

美術・音楽・映像・国際（修士・**博士**） ○ ○ 専攻 ○ 年 氏名 ○ ○ ○ ○
 （学生番号 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○） [電話] ○ ○ (○ ○ ○ ○) ○ ○ ○ ○ [携帯] ○ ○ ○ (○ ○ ○ ○) ○ ○ ○ ○
 指導教員名： ○ ○ ○ ○ 先生

以下、申請業績は、自身で重要と考える業績から順番に記入すること。

申請業績の題目・その1

資料番号：1

「業績優秀者返還免除申請書」と「業績資料」に記入する資料番号と一致させる

博士論文 及び 研究作品
 研究作品は○○賞を受賞した

(イ)学内 (ロ)学外 どちらでの業績かを○で囲み、該当項目の欄に記載する

- 業績の該当評価項目（いずれかに○印） → (イ)学内（正課）活動に関する業績 (ロ)学外（正課外）活動に関する業績
- 業績の評価項目（申請の説明書に記載の「東京藝術大学返還免除奨学生選考基準」での該当項目を記入のこと）

該当項目：第5条（ 1 ）イ

「東京藝術大学返還免除奨学生選考基準」第5条のどの項目に該当する業績か、記入すること。

申請業績の題目・その2

資料番号：2

※業績内容は「申請要領」3～6頁または8～10頁を参照
 「業績優秀者返還免除申請書」の「業績の種類」番号ではないので注意！

○○主催 ○○年 ○○○○コンクールにて優秀賞（または第○位）に入賞

- 業績の該当評価項目（いずれかに○印） → (イ)学内（正課）活動に関する業績 (ロ)学外（正課外）活動に関する業績
- 業績の評価項目（申請の説明書に記載の「東京藝術大学返還免除奨学生選考基準」での該当項目を記入のこと）

該当項目：第5条（ 4 ）イ

「東京藝術大学返還免除奨学生選考基準」第5条のどの項目に該当する業績か、記入すること。
 ※業績内容は「申請要領」3～6頁または8～10頁を参照

申請業績の題目・その3

資料番号：3

〇年〇月〇日～〇日まで、〇〇画廊にて個展を開催

展覧会タイトル：「〇〇〇〇〇〇」

『月刊〇〇〇』（〇年〇月号）掲載の記事で、高い評価を受けた

1. 業績の該当評価項目（いずれかに○印）→（イ）学内（正課）活動に関する業績 学外（正課外）活動に関する業績
2. 業績の評価項目（申請の説明書に記載の「東京藝術大学返還免除奨学生選考基準」での該当項目を記入のこと）

該当項目：第5条（ 4 ）

申請業績の題目・その4

資料番号：4

成績優秀者に受給される学内奨学金「〇〇賞」を受賞

1. 業績の該当評価項目（いずれかに○印）→ 学内（正課）活動に関する業績 学外（正課外）活動に関する業績
2. 業績の評価項目（申請の説明書に記載の「東京藝術大学返還免除奨学生選考基準」での該当項目を記入のこと）

該当項目：第5条（ 3 ）

申請業績の題目・その5

資料番号：5

ティーチングアシスタント（業務期間：〇年〇月～〇年〇月）

特に〇〇〇〇（具体的事項）の点で研究室の運営に貢献した。

1. 業績の該当評価項目（いずれかに○印）→ 学内（正課）活動に関する業績 学外（正課外）活動に関する業績
2. 業績の評価項目（申請の説明書に記載の「東京藝術大学返還免除奨学生選考基準」での該当項目を記入のこと）

該当項目：第5条（ 6 ）

申請業績の題目・その6

資料番号：

1. 業績の該当評価項目（いずれかに○印）→（イ）学内（正課）活動に関する業績 学外（正課外）活動に関する業績
2. 業績の評価項目（申請の説明書に記載の「東京藝術大学返還免除奨学生選考基準」での該当項目を記入のこと）

該当項目：第5条（ ）